

経営比較分析表（令和5年度決算）

千葉県 佐倉市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	0.14	100.00	6,168

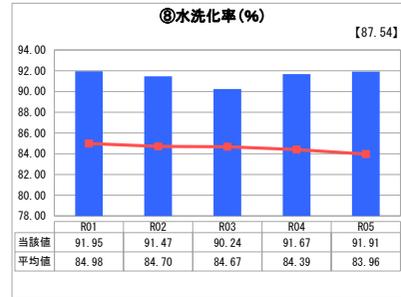
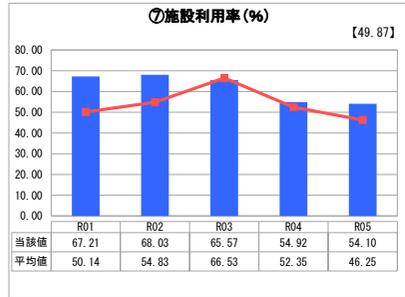
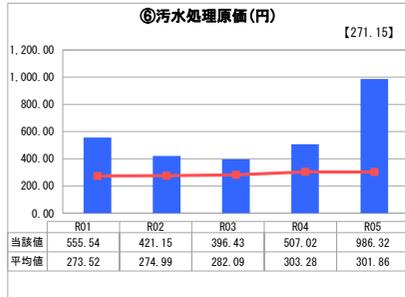
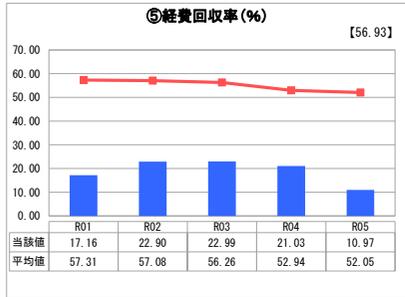
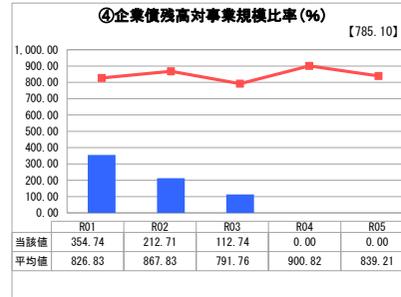
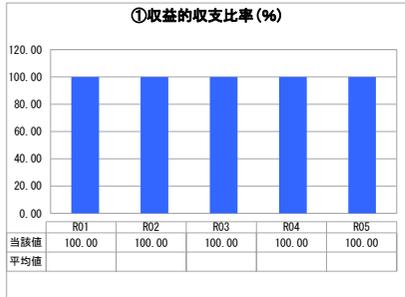
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
170,406	103.69	1,643.42
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
235	0.16	1,468.75

グラフ凡例

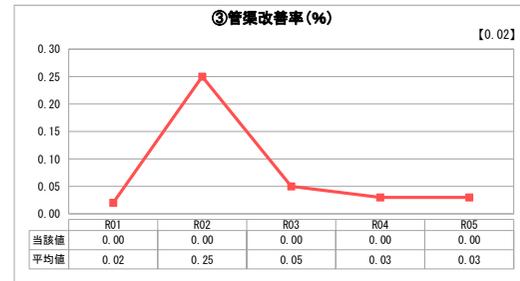
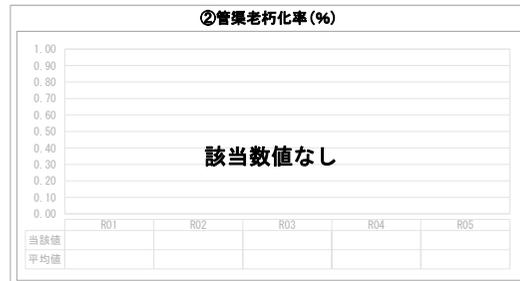
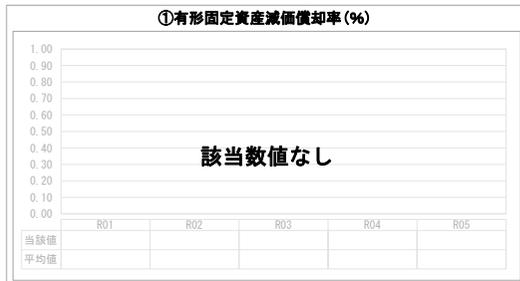
- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)

【】 令和5年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

収益的収支比率は100%であるものの、料金収入の不足分を一般会計繰入金で賄っている状況である。
また、処理区域内の水洗化率は90%を超えているものの、年々人口が減少している地域であり、収入の増加も見込まれないため、当該事業を現状のまま継続する場合、経費回収率等の抜本的な改善は難しい状況である。

2. 老朽化の状況について

管渠については、直ちに改修の必要性が生じている状況ではないが、耐用年数を鑑みると、今後大規模な改修も必要となってくる可能性が高い。

全体総括

経費回収率の改善が見込まれない一方で、処理施設及び管渠の老朽化による費用の増大も危惧され、本事業の経営状況の改善は難しい状況である。
そのため、公共下水道への接続の検討など、各種調査や関係機関との協議等を進めているところである。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。